

## 仙台市議会議員(若林区) 菊地たかよし 市政活動報告

### 菊地が議会で強く提言し続けた国家戦略特区への参画が実現中!

#### 国家戦略特区とは?

国が指定した特定の区域において、その区域限定の大胆な規制緩和・税制優遇を行い、経済活動しやすい環境をつくるのが狙いです。

#### 起業を幅広くサポート

- ・NPO法人設立認証手続き期間を、約半分に短縮
- ・雇用労働相談センターの設置(市起業支援センターに併設)
- ・創業時に必要な、各種手続きの窓口一本化 …など

#### 女性の社会参加を促進

- ・地域限定保育士試験の実施により、保育士不足を解消
- ・都市公園内への保育所設置の解禁により、待機児童を解消
- ・育児休暇取得者の対象拡大 …など

#### 医療イノベーションを強力に推進

- ・未承認医薬品使用等、先進医療のための審査期間短縮
- ・東北大学病院における新医療機器開発・実用化を加速させる、臨床試験期間の短縮、相談手続きの簡素化 …など

#### 近未来技術実証を積極的に受け入れ

- ・電気自動走行車、災害時等に活用される飛行ロボット(ドローン)の実証実験等のプロジェクトを、規制改革を通じて積極的に支援し、新たなイノベーションを喚起

去る6月28日、青葉区のアエル7階「アシスタ交流サロン」内にオープン。起業予定や起業後間もない企業の使用者や労働者が、雇用ルールについて弁護士や社会保険労務士に無料相談できます。

登録後3年間の勤務地を受験地に限った保育士資格で、保育士不足解消のため受験機会が年2回に拡大されています。仙台市では今年10月に初めて実施される試験の受付が、7月1日～27日に行われました。

規制緩和により公園本来の機能と無関係な施設の設置を一部認めることで、用地確保が障壁となっている保育所整備を加速させ、子育て世代の定住促進を図ります。2017年4月、青葉区の「中山とびのこ公園」に最初の都市公園内保育所が開所予定。

▽ 関連情報誌『仙台特区』発行! 市役所1階、各区役所総合案内、総合支所等にて配布中。ホームページからもご覧いただけます! → <http://sendai-tokku.jp/>

平成28年度の組織改正において、東北各都市の広域的連携、交流人口拡大を目的とした『東北連携推進室』が新設(同じく新設の『文化観光局』内に設置)されました。こうした体制のもと、上記の国家戦略特区政策等、**仙台発の地方創生施策によって東北域内自治体の共存共栄をはかり、東北全域の明るい未来を切り拓くべく、自ら知恵を絞って参ります。**

### 豪雨・水害の総合的な課題解決に向け、自民党会派で国へ意見提出

平成27年9月11日に発生した「東北関東豪雨被害」をふまえ、抜本的な国の諸対策を求めました。またこれまで縦割りで管理されていた仙台市の旧来の内水問題の改善のため、雨水や農業排水の総合一元的なシステム構築について研究・提言して参ります。



▲ 平成27年10月26日、衆議院議員会館にて

#### 菊地たかよし プロフィール

昭和43年 仙台市若林区生まれ / 宮城県仙台第一高等学校 ~ 東北学院大学(法学部)卒業 / 平成5年 陸上自衛隊入隊 / 第一線部隊、東北方面総監部、防衛省陸上幕僚監部等を経て、平成22年 二等陸佐(中佐)で退官 / 平成23年8月 仙台市議会議員 初当選(現在二期目)

- 【現在の役職等】 ● 市民教育副委員長 ● 総合交通政策調査特別委員会委員 ● 社会教育委員  
● 議会運営委員 ● 会派 自由民主党に所属、政調副会長  
● その他、自衛隊協力仙台市議会議員「有志の会」事務局長 など

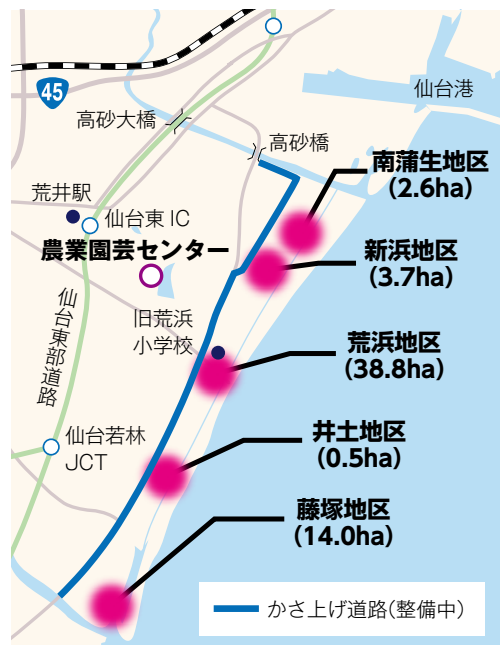
# 震災から5年、新年度を迎え復興計画次のステージへ

## ■ 集団移転跡地の利活用方法を検討中 ■

◇ 荒浜地区など5地区、『交流とチャレンジ』テーマに

防災集団移転促進事業により市が買い取った東部沿岸地域の土地（集団移転跡地）の具体的な活用方法について、市は先般その基本方針として『**集団移転跡地利活用の考え方**』を取りまとめ、公開しました。

移転跡地については**公共事業で公園などとして整備するのではなく、市民や企業、NPO、起業家など、意欲のある方に土地を貸与し、自由な発想で使っていただく**というポリシーのもと、本年4月から6月末にかけ、一般市民からアイデアを募集。応募案をもとに今後さらに検討を重ね、被災した沿岸部から仙台の新たな魅力の発信を地域意見を反映しつつ進めます。



## ■ 農業園芸センターも課題乗り越え再開 ■

◇ 愛称は『みどりの杜』4月29日にオープニング式典

震災により甚大な被害を受けた農業園芸センターの再整備がこのほど完了し、『**市民が農と触れ合う場**』として、また収益性の高い農業推進支援の拠点施設として、この4月、リニューアルオープンしました。今後は民間事業者により



運営され、四季折々の花や植物、さまざまなイベント等を楽しみながら、農業・食に親しみ触れ合える施設を目指します。



## 津波被災者再建支援金制度が創設されました！

- ◆ **対象区域** 東日本大震災による津波浸水区域（災害危険区域、区域A及び区域B）
- ◆ **支給対象者** 被災者生活再建支援金の基礎支援金を受給し、かつ住宅を再建したことが確認できる方（応急仮設住宅や災害危険区域内で居住を継続している方を除く）
- ◆ **支給金額** 20万円
- ◆ **申請期間** 平成28年6月～平成30年3月末日

**申請が必要**ですので、対象者の方はお忘れなく！

## 『仙台市 震災記録誌』熊本地震復興の道しるべに



▲「本市の経験の全国発信に向け、全庁的な教訓収集を」との菊地の提言（H24.2.29／総務財政委員会）等により編集された。

平成28年熊本地震で被災者された方々へ、心よりお見舞い申し上げます。

私が早期から求めた、東日本大震災における本市の経験や教訓を記した『**東日本大震災 仙台市 震災記録誌 ～発災から1年間の活動記録～**』が仙台市独自の支援物資として熊本地震の被災地へ100部寄贈され、現地の復旧・復興に役立てられています。本誌を用いたアドバイスの提供や、職員の派遣、各種支援も随時実施しています。

今後、国の災害関連法制の見直しと、被災地支援の運用改善を、政令市議会として提唱します。

